

トヨタ紡織、「人とくるまのテクノロジー展2017」に出展

～環境にやさしい新開発材料、快適価値の提案～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：石井克政^{いしいよしまさ}）は、5月24日（水）から26日（金）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2017」に出展します。

今回は、独自のコア技術を活用して開発した、シートやドアトリムなどの内装部品、燃料電池構成部品、ハイブリッド関連部品を展示するとともに、環境にやさしい新開発材料の数々を紹介します。

新開発材料として初出品する「赤外線反射内装」は、太陽光に含まれる近赤外線を反射し、内装部品の温度上昇を抑制することで冷房熱負荷を低減させ、車両の燃費向上に寄与します。また、部品の軽量化や省資源化を進め、次世代自動車の環境性能向上に貢献する新開発材料を提案します。

1. 主な展示品

(1) LEXUS LC搭載 シート、ドアトリム

- ①表皮一体発泡工法により、乗り心地とデザイン性を高い次元で両立したシート
- ②立体的なデザインのドレープ形状と、より美しく際立てるイルミネーションを施し、上質な空間を演出するドアトリム



(2) MIRA I 搭載 燃料電池構成部品

- ①独自の精密プレス加工技術を活用した、燃料電池のセパレーター
- ②大型樹脂インサート成形技術を活用し、薄型化したスタックマニホールド

(3) ハイブリッド関連部品

- ①高精度・高速プレス加工技術を活用したモーターコア構成部品

(4) 環境技術【参考出品】

- ①赤外線反射内装：直射日光による内装部品の温度上昇（蓄熱量）を抑制する材料
- ②軽量天然繊維基材：発泡技術を活用し、従来のケナフ基材をさらに軽量化した基材

2. 出展場所 ブース番号：239

以上